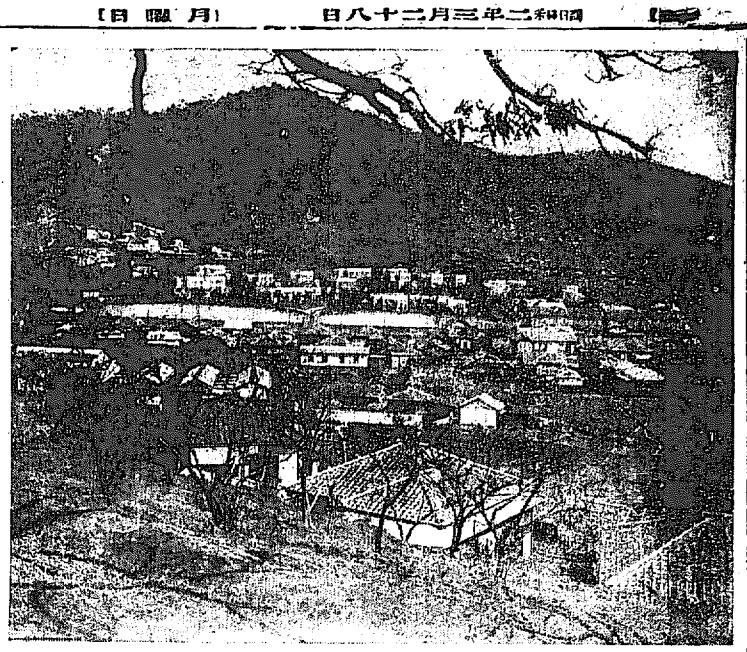
京城日報　夕刊

眞相漸次判明
南京事件の詳報
【二十七日】外務省公表

【東京電報】外務省公表＝南京事件の眞相が漸次明瞭に帰したつて南京の日本領事館に入り暴行を始めた。我警備隊司令官と領事の了解の下に海軍陸戦隊の一部が南京城内に進出せるに、二十四日午後四時半頃城内の日本領事館に向つて発砲し来りたるを以て我警備隊は城内に入り城内の敵を撃退し領事館を守護し居たるに、二十四日午後六



李王の御歸鮮を 御待ちかね

御一年祭を控へて

李大妃殿下の御近狀

故李王殿下が薨去遊ばされ早くも一週年目には再び殿下が歸鮮なされたが故李王妃殿下には永久にかへりまさぬ故李王殿下の御冥福を祈られつゝ昌慶宮殿内につゝましやかな御余生を御送り遊されてゐる四月十五日の御一周年祭も間近に迫つた時李大妃殿下の御歸鮮を承はるに殿下にはいとおすこやかにあらせられこの一週間といふもの日々の茶禮を一日たりとも怠らせられず絶えず總て御鮮の儀御一周年祭の日に殿下の尊靈に御かしづき遊ばされて側近の者も羨ほどまでに御懇切を上げてゐる。殿下には一周年祭のため御歸鮮なされる李王垠殿下妃殿下の御歸鮮なれば一日千秋の御思ひとおもはるゝ御待ちかねの御歸鮮であると承はる。

全國記者大會

（文化博第二日に開かる）

妓生の餘興が大持て

關岡にて 久松特派員發電

東都陸軍二日の催しである全國新聞記者大會は樂園の通り二十六日開催せらる。午前十時半、安東縣長の歓迎會を宮城前九日主催の歓迎會の挨拶をなす。これに對し會長一同の答辞により久松本社長

[illegible]

文化のグループ……（二）

ふるい歴史を誇れる春を

新しき人形歓迎の歌

小高い丘の頂上からなだらかに

文化住宅が並ぶ三坂一帶

[illegible]

支那兵の逮捕令

保安司令より依頼

【上海廿五日發電】廿五日午後十時支那城の一部は無通告で租界に入つた。上海保安隊指揮官ゴルドン大佐は各國隊隊に逮捕を依頼した

自殺ではない

死因は腦震蕩と診定

揚井面長の死因に就て

平壤刑務所の發表

【平壤電話】平壤地方法院揚井面豫審判事の手により調査中の二萬圓紙幣の公金紛失事件の犯人と目される非常長井右衛門が二十四日獄死したことは既報の通りであるが、同獄において死亡したその死因について目撃者なきものの死因について左の如く公表した

[illegible]

又も四人の暴力團

支那パン屋を襲ふ

どさくさに紛れて

賣上代金まで掻つ浚ふ

[illegible]

ラヂオ商の亂賣戰始まる

組合の協定が破れて

ラヂオ商會が先づ脱退

[illegible]

昨夜二つの音樂會

[illegible]

電車は滿員 けふの日曜は

十二三萬人が動く

[illegible]

昌慶苑 賑ふ

午前中に三千の入場者

[illegible]

二人組強盜

[illegible]

最新の武器！

太陽

最大の能率

無絶の來碎

經費の極減

御一報次第カタログ贈呈

社會資合臼陽太社

京城長谷川町・仁川花町二

現代報摺界の凡ゆる欠點を補足せる點に於て本機の器價は今や需用者の間に確認せらるゝに到れり

寫眞

技術奉仕

當館開業以來滿十五年自祝の爲別記の期間中技術奉仕を致します、皆様の御來寫をお待ち申して居ります

なほこの期間中原板御希望のお方には差上げます

期間 四月一日より四月三十日迄

特價 大判三圓 中判二圓 小判一圓半

本町寫眞館改メ 京城本町二丁目（電話本局三〇番） イトウ寫眞館

裡里櫻町 電話三三九番 富屋旅館

副業に專業に安い。賣れる。儲かる。

モスリン 一尺五錢

出切友仙

一組 金五圓

希都モス出切販賣所

二度とない突飛な安賣

藏ざらへ

平素のお安い

正札の半額提供

五 淺野店 電一一七四番

珍しき藝術

佛蘭西サガラ講習會 展覽會

場所 東京家庭藝術研究所

日時 毎月三日間 一圓五十錢

申込所 當日會場受付

展覽 東京家庭藝術研究會 後援 愛國婦人會朝鮮本部役員有志 援助 京城日報社

[illegible]

洋傘 と ショール 丁子屋 南大門通

謝恩春服大賣出シ

[illegible]

フロックコート 流行モーニング 合服 合オーバー 合作業 各種ズボン 事務服 通學服 厚司服 羅紗切

佐賀屋事 馬渡洋服店 京城府黄金町三丁目 永樂町電車停留場前 電本局三九二・九三番

山林 苗木 果樹 茶苗 野菜種子 花卉 農具 新京橋 四日市花屋

社員 [illegible]

女中 [illegible]

大學 [illegible]

古本 [illegible]

看護 [illegible]

洗布 [illegible]

靴 [illegible]

繩叺 [illegible]

リンゴカステラ 京日案内 [illegible]

慶州郡の大失態

道議選挙の不正暴露す

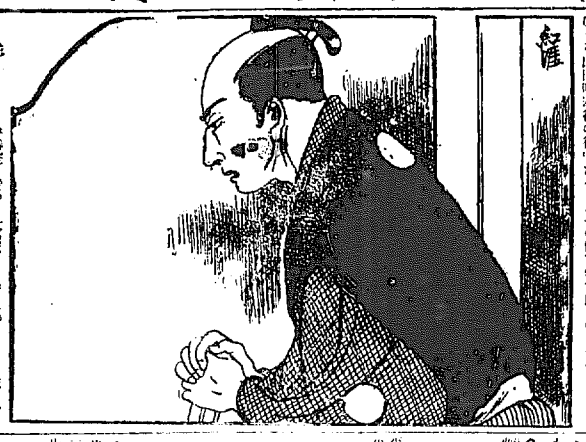
慶州郡における道議選挙は既報の如く郡守の内命により氏名を推薦し郡内の有力者に対し郡守の内命により氏名を推薦し郡内の有力者に対し郡守の内命により氏名を推薦し郡内の有力者に対し

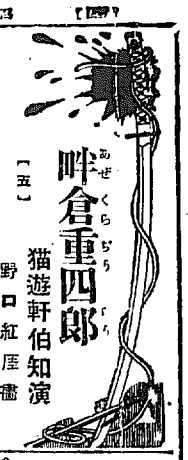
畔倉重四郎

【五】

猫遊軒伯知演

野口紅厓畫





權太郎に近寄り、人魚夫の八兵衛の四人は蒸し暑い部屋に一夜を明かし、翌朝役人に引出されて牢へ送られました。權太郎はこの間に目をつけが權太郎の大きな體たらく役「これは馬の腸だ。貴様達は十、殺生禁斷の場所に魚を捕る罰の大馬鹿者じき腐れぬとは人にあるまじき腐れぬとは人にあるまじき腐れ泥ひでつらを洗へ」權「ひどい目を申す奴だ」と申したが、先づ四人は濡れて休息してゐると、獄を小役人が持つて來ました。獄に異狀があつて權太郎には驚をつけ る暇が出來ません。權「コレ〳〵役人共、米を持つて參れ」役「獄に驚れ馬腸者、こゝを何と思ひやる」「ハテ何と思ひやる」「ハテ何と思ひやる」「ハテ